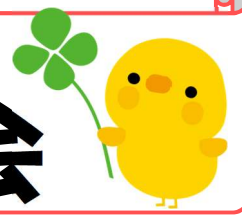




第1回

子育て支援講習会



9月6日(金) 臨床心理士の伊地知先生をお迎えし、子育て支援講習会を実施しました。その中で、「発達障害と認定・診断される人よりグレイゾーンと呼ばれる人の方が圧倒的に多い。きちんと理解し、向き合っていく事が課題。また、親からの虐待が増えている。そのような方を見かけたら相談に行くように促して欲しい。」という話がありました。

今回学んだ事を、今後の児童クラブや生活の場などで活かし、子供や親からの信号を見逃さないよう、温かく見守っていききたいです。



こんな子ども…いませんか?①

小学4年 男の子

- ゲームが好きで、遊び始めると熱中しすぎて切り替えが悪くなってしまふ。
…友達との約束や習い事の時間なども忘れてしまうほど。
 - ルールを作っても、守れるのは1日だけ。
 - ゲームをしているときでも、他のものに気が散って、別の遊びを始めることもある。
- 一周りからは、「だらしない子」と思われている。

引用(2018)発達障害 生きづらさを抱える少数派の「種族」たち 著: 本田秀夫



シルバー人材センター活動への支援の要請行動を行いました!

9月10日(火) 伊佐市シルバー人材センター理事長含め5名が伊佐市役所に赴き、伊佐市長、市議会議員長へ支援の要請をしました。

高齢化が進む中、意欲のある高齢者が活躍し続けるために就業機会を提供したり、生きがいを創出するために、センターの果たすべき課題などを話し、事業を継続するための支援を要請しました。



左奥から隈元新様(伊佐市長)、緒方重則様(伊佐市議長)
右奥から馬門清春(伊佐市シルバー人材センター理事長)、
大辻寛信(副理事長)、小水流津恵子(副理事長)、
小椎八重猛(常務理事)、生駒睦美(事務局長)